

## 令和3年度第2回「防府市農林業政策懇話会」 議事録等

### ■開催日時・場所

令和4年3月25日（金）午後3時から午後4時30分まで  
防府市地域協働支援センター 多目的ホール

### ■次第

- 1 主要事業等に関する情報提供
  - (1) 令和4年度農林業に関する当初予算の概要について
  - (2) 「農林業の知と技の拠点」の形成について
- 2 防府市の農林業を活性化する提案等について

### ■配布資料

	資料名	番号
1	令和4年度防府市農林業に関する当初予算一覧	【資料1】
2	令和4年度防府市農林業に関する当初予算概要	【資料2】
3	「農林業の知と技の拠点」施設整備について	【資料3】
4	農道牟礼小野線整備事業の進捗状況について	【資料4】

■委員等出席者名簿

敬称略・順不同

種別	氏名	所属／品目	出欠
会長	池田 豊	市長	出席
農林業関係団体	吉武 康彦	山口県農業協同組合防府とくち統括本部長	出席
	戸田岸 巖	山口県中央森林組合 組合長	欠席
	藤井 伸昌	防府市農業委員会 会長	出席
	原田 慎司	山口県農協青壮年部	出席
流通関係団体	吉武 健志	(株)ユアーズバリュー代表取締役社長	出席
	荒瀬 正則	防府市野菜出荷組合 組合長	出席
農業関係者	岡本 拓実	(株)ファーム大道 代表取締役社長	出席
	矢部 洋子	施設野菜	出席
	吉次 英哲	果樹	出席
	柳 俊則	花き	欠席
	池田 英雄	畜産	出席
消費者	阿部 幹恵	防府市生活改善実行グループ連絡協議会 会長	出席
公募委員	中山 博祐		出席
	蓑島 啓子		出席

## ■会議録

### 1 主要事業等に関する情報提供

---

- (1) 令和4年度農林業に関する当初予算の概要について
- (2) 「農林業の知と技の拠点」の形成について
  - ・事務局から資料にて説明

### 2 各委員による意見

---

- |     |  |
|-----|--|
| 会長  | 防府市の農林業について、皆様から忌憚のない御意見をいただきたい。   |
| A委員 | 農業委員会として今年度も農業政策に関する要望をいくつか行った。要望を受け、法人就業を促進する事業が予算化され感謝する。一方で、耕作放棄地対策として、小規模農家や兼業農家が経営を継続していけるよう農機レンタル事業の立ち上げを要望したが予算化されなかった。生産性の向上と農地維持は両輪であるので、JAと市が連携して農機レンタル事業について検討いただきたい。 |
| 会長  | 令和4年度事業において、新規就農者支援事業と法人就業支援事業を拡充した。耕作放棄地対策は課題なので、小規模農家へ農機レンタル事業は行政だけでなく、農業委員会、JA、農業者、地域等が一体となって具体的に考えていかないといけないと思っている。  |
| B委員 | 農地へ太陽光発電施設が整備されているが、整備後のパネルの処分が課題と思っている。   |
| 会長  | 太陽光発電施設については、国のエネルギー政策や耕作放棄地対策も含めトータルで考えていかないといけないと思っている。  |
| B委員 | 「担い手就業者支援事業」の農大卒業生への授業料相当額の助成は誰でも受けられるのか。  |
| 会長  | 市内法人に就業した農大卒業生。  |
| C委員 | 3つ質問がある。1つ目、農業バイト求人検索サイト「アグポン」は誰でも求職者を登録できるのか。登録料は無料か。2つ目、防府市の猟友会の人数は。3つ目、田んぼダムの機能を発揮するため水を流すのに誰に了解を得たら良いのか。   |
| 事務局 | 2つ目の御質問の防府の猟友会の令和3年度の正会員数48人。高齢化により会員数が減少している。新たな若い担い手を確保し鳥獣被害を防ぐために、山口県において狩  |

猟免許取得経費等助成制度があり、市も県と連携し制度を周知し、新たな担い手を確保していきたい。

3つ目の御質問の田への水の放流は、地元の土地改良区か水利組合に相談をして欲しい。

J A 「アグポン」はJ A中央会が主催している。登録料は無料。市内の募集が少ないのでJ AもJ A中央会と一緒に力を入れていきたい。

A委員 「アグポン」を通じて求人を行い、山口市と宇部市在住の2名のパートさんを雇用した。求人登録も少ないと思うが、応募も少ないと思う。また、田んぼダムは、地域の保全会を通じて活用も可能なのではないか。

事務局 多面的機能直接支払交付金の中で田んぼダムの加算が今年度から始まったが、要件が厳しく市内の保全会での活用実績はない。

B委員 「繁茂竹林整備事業」で竹林を整備してもらった。伐採した竹の活用ができればSDGsの取組にも繋がると思う。旧カネボウ跡地で木のチップを燃料にして発電を行っていると聞いたことがある。竹チップの活用はできないのか。

会長 発電に際し、燃料に一定の割合で竹チップを使用していると聞いている。また、竹を活用した取組について、支援できるものは支援していきたい。

D委員 コロナ禍で乳製品の需要と供給のバランスが崩れている。また、輸入飼料の価格上昇等により飼料価格が高騰し、畜産農家の経営に大きな影響が生じている。飼料の安定的な確保の必要性を感じている。畜産農家の現状を把握して欲しい。

会長 現場をしっかりと見ながら、耕畜連携や国の経済対策について情報収集等も行いながら必要な対策を考えていかないといけないと思っている。

E委員 飼料用作物として連作に強い子実トウモロコシ栽培に興味を持っている。耕畜連携の取組の一助になればと考えている。

会長 耕畜連携の取組が進むような体制を研究していきたい。

F委員 令和4年度の新規就農支援事業は予算が拡充され支援が強化されている。農協青壮年部としても地域農業の振興に繋がるよう新規就農者の確保・定着に協力していきたい。耕作放棄地対策や認定農業者支援のための事業にしっかり予算をとって欲しい。佐波川右岸の広域防災広場整備事業に関して、地域農業への配慮をお願いしたい。事業

- にはできるだけ協力していきたい。
- 会長 「農林業の知と技の拠点」の形成を契機として、担い手の受け皿となるような法人を支援していきたい。  
耕作放棄地対策について、農地を守るという観点からJA等と一体となって考えていきたい。  
広域防災広場の整備については、道路を整備する土木部門だけでなく、産業振興部も農業者の方のニーズも聞いて地域農業の振興に繋がるような形にしていきたいので、地域として要望をしていただきたい。
- G委員 小売の現場は、食品仕入原価や物流費の上昇、光熱費の高騰、ウクライナ危機で厳しい状況に置かれているが、「農林業の知と技の拠点」の形成を契機とし、小売りとして地産地消の取組を通じて地域農業を盛り上げていきたい。
- 会長 行政やJAや関係者等が一体となって農業の「防府モデル」をつくり、農業振興をしていきたい。
- H委員 コロナ禍で青果市場での取引価格が下がり、また、取引量は年々低下している。市場の活性化が農業者の定着に繋がると思う。
- 会長 関係者等と調整しながら青果市場の活性化を行っていきたい。
- I委員 施設野菜の栽培に不可欠な燃油が高騰し、営農に影響が出ている。対策があれば教えて欲しい。
- 会長 国においても対策が検討されているところ。必要に応じて検討をしていきたい。
- J委員 柑橘栽培のために新植事業や改植事業を活用したが、使い勝手が良くないのではないのか。また、新規就農者への支援が足りていないのではないのか。
- 会長 事業の活用にあたっては、市に事前相談等を行いながら進めて欲しい。  
山口県の新規就農支援は全国的にも手厚くレベルが高いと思う。そのような中で、市では新年度事業で更に手厚い支援を行う事業を予算化しており、理解を求めたい。
- J委員 市の職員の農業バイトを認めて欲しい。
- 会長 地方公務員法に関わるので、市の判断で行えるものではない。地域で必要なことに参

加できるような動きを検討していきたい。

K委員 | 農産物の出荷先となる青果市場の活性化に農業者として協力していきたい。また、中小規模の農家が経営を継続していけるように農機レンタル事業を検討してほしい。

会長 | 青果市場の活性化の方策を検討していきたい。また、農機レンタル事業については、持続可能な制度となるようJA等と制度設計をしっかりと検討していきたい。

J委員 | 私のみかん園に市長が視察に来られたので感想を聞いてみたい。

会長 | 気象条件の良い場所で栽培されているので糖度の高いみかんの栽培が可能なのだろうという印象を受けた。

J委員 | 市長は時間がないということで、良いところを案内した。前回の懇話会で危機感を持ってほしいと話したところ、後日職員が視察に来られたので、悪いところを案内した。情報が共有されていないようだが、防府のブランドとして考えていくのか

会長 | 「天神みかん」のブランドをしっかりと確立していきたい。

B委員 | 「天神みかん」のネームバリューが浸透していないのではないかと。

会長 | 防府天満宮のPRとあわせて「天神みかん」のPRを行ってほしい。

閉会